

茂木 秀 選手・楠本 羽翼 選手の紹介



写真：©Kaz Photography/FC GIFU

背番号

1 GK

もぎ しょう
茂木 秀 選手
(24歳)

ホームタウン応援大使
多治見市
ニックネーム
モギシュー

神奈川県横浜市出身、身長195cmは両親譲りの武器だ。横浜市中川中学校時代に町クラブのMKFCに加入し、ゴールキーパーになった。中学2年で身長は190cmに達し、中学3年で現在の195cmにまで成長した。特別大きな体で、体育祭の騎馬戦では相手チームの帽子を全部奪って勝った。同級生8人の小さなチームだったが、県大会でジャイアントキリングを起こし初優勝した。その後、桐光学園高校に進学した。サッカーの名門、桐光学園の出身者には、元日本代表の中村俊輔や藤本淳吾がいる。一学年上には、小中高が同じで親しい小川航基(横浜FCで昨年のJ2得点王)がいる。レベルの高い環境で技術を磨き、高校3年で再び県大会優勝を果たした。

2017年セレッソ大阪に加入し4年間素晴らしい環境でプレーした。練習ではひたすら真面目で向上心の塊であるが、ピッチを離れると、オチャラケて明るい性格である。セレッソ大阪時代の最大の財産は多くのトップレベルの選手達と練習が出来たことである。特に衝撃的だったのは柿谷曜一朗選手のボールさばきの神技であった。ボールが足に吸い付くというのを初めて見た。駆け引きやタイミング外しは素晴らしく、大いに勉強になった。その後セレッソ大阪からレンタル移籍として町田ゼルビアで1年、水戸ホーリーホックで半年、FC今治で半年プレーした後、FC岐阜に完全移籍を決断した。ここで活躍する強い決意と覚悟を持って加入した。

FC岐阜は、加入当初はチーム内での力の差や纏まりがないこともあったが、クオリティーの高い選手が多く、試合を重ねるごとに、それぞれに自信が付きチーム全体のクオリティーや精度が上がって現在はいい状態だと感じている。はじめはスタメンとそれ以外という感じがあったが、天皇杯で普段試合に出ていないメンバーが戦列に加わって、J2の清水エスパスに競り勝ったところから、チーム内で非常に良い競り合いが起きている、若い選手達も活気づいている。

昨年のワールドカップの森保監督の新時代を頂いて、今年の自分のスローガンに『モギノシンジダイ』と掲げている。ホームはもとよりアウェイにも大勢のサポーターが来てくれて、背中を押してもらっているので、いつも勝利で感謝を表わせるよう皆で頑張ります。そう誓った「モギシュー」の活躍に期待している。



写真：©Kaz Photography/FC GIFU

背番号

28 FW

くすもと つばさ
楠本 羽翼 選手
(22歳)

ホームタウン応援大使
白川村、東白川村
ニックネーム
つば

名前は、羽翼と書いてつばさと読む。世に羽ばたき、もっと羽ばたくようにと父が名付けてくれた。三重県四日市市出身、両親と兄、姉の5人家族。四日市市立羽津小学校1年生の時に羽津少年団でサッカーを始めた。同じ少年団の5年生に素晴らしくサッカーが上手い憧れの選手がいた。その選手は名古屋グランパスジュニアユースを経て、ドイツ、オーストリア、スペイン等で活躍した。その人を追いかけるようにサッカーに打ち込んだ。そして羽津中学校時代はクラブチームのFC四日市に加入した。その後、愛知県東海学園高等学校に進んだ。そして大学は、多くのプロサッカー選手を輩出し、東海地区のトップレベルである東海学園大学サッカー部を選んだ。大学1年生の最後にトップチームに入ったのをきっかけにプロ選手を目指そうと決意した。同期には、FC岐阜の和田選手とカターレ富山の伊藤選手がいた。2学年上では4人、3学年上にも2人がJリーグに加入していて、競争相手ではあるが人生の先輩として大事にしている。

FC岐阜に加入して良かったと思うのは、ほかのチームに比べて経験のあるベテラン選手が多く、毎日の練習で吸収できるものが多いと感じている。アドバイスをくれたり勉強になることが多く、大変励みになっている。自分の武器は足の速さであり、チームでもトップクラスの時速35.5kmで、フォワード、サイドハーフ、サイドバックもこなせる。大学の監督から『一番走れる選手になれ』と言われたことを愚直に実践している。まだ、リーグ戦には出場していないが、天皇杯の2回戦清水エスパス戦に出場出来て嬉しく思っています。今のFC岐阜が好調なのは、スタメン組もサブ組も関係なく全員がやる気を全面に出してチーム一丸で頑張っているところにあらわれている。

好きな言葉は、『悩む暇があったら動け』であり、自分自身も試合に出てチームに貢献できるように一生懸命練習に励んでいる。人を笑わせるのが得意で、一発得意技は「変顔」と言ったが、出来上がりは「超ハナム顔」でどちらもモテモテ顔で羨ましい限りのお茶目な人柄である。これからの活躍を大いに期待している。